

若手の海外研究滞在 ～実現のための秘訣～

海外での現地調査・研究、留学を検討中の皆さまへ

2010年度海外研究滞任者が、準備から帰国までのあれこれを報告します。海外経験の豊富な本学教員も加わり、キャリア形成に活かす秘訣を先人に学ぶ絶好の機会です。奮ってご参加ください。

講演者等プログラム詳細はHPにて随時更新中！

- 第1回 欧州・中東・アフリカ編
6月23日 (木) 15:30～17:00
- 第2回 アジア編
7月1日 (金) 14:00～15:30
- 第3回 南北アメリカ・オセアニア編
7月4日 (月) 13:00～14:30

※閉会后、情報交換と交流の場を30分ほど設けております。是非どうぞ。

会場

国立東キャンパス
第3研究館3階 共用会議室

申込み
問合せ

int-wp.g@dm.hit-u.ac.jp
※事前申込みにご協力ください。(当日申込み可)

キャリア支援室大学院部門 <https://sites.google.com/a/r.hit-u.ac.jp/careersupport/>

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム

若手研究者の海外研究を支援することにより、研究能力の向上や研究経験の蓄積を促進し、国際水準の研究者育成を加速する。

VISIT OUR WEB SITE

www.hit-u.ac.jp/gih/ja/researchers/news.html



第1回 欧州・中東・アフリカ編
6月23日（木）15:30～17:00

15:30 オープニング

- ・若手研究者へのメッセージ
川崎恭治役員補佐（法学研究科・教授）
- ・組織的な若手研究者等海外派遣プログラムについて

15:45 講演

- ・加藤博先生 海外研究滞在談

経済学研究科経済史・地域経済専攻教授。
専門は、エジプト社会経済史、エジプト社会史、イスラム文明論、イスラム地域研究。2002年からは、日本人研究者としては初めて、エジプトでの社会調査を許可されたことを契機に、エジプト中央統計局と合同で、エジプト都市部・農村部での世帯調査を実施している。

- ・岡田健一郎氏 海外研究滞在報告（ドイツ・1ヶ月間）

法学研究科博士後期課程在籍（阪口正二郎ゼミ）。
専門は日本及びドイツ憲法学。当事業では、2011年3月にドイツ・フランクフルト大学法学部にて滞在研究員として在籍し、「ドイツ公法学における暴力独占論 ——『国家による安全』を考えるために——」というテーマで研究および文献調査を行った。

- ・森川由美氏 海外研究滞在報告（英国・3ヶ月間）

社会学研究科地球社会専攻博士後期課程在籍（ジョナサン・ルイスゼミ）。
専門は教育社会学。当事業では、2010年10月～12月にスターリング大学教育学研究所に受入れられ、スコットランドの21世紀型学校カリキュラムに対する中等学校教師の学習活動とその組織形成について、政府機関や中等学校への聞き取り調査と参与観察を行った。

- ・櫻井武司先生 海外研究滞在談

経済研究所日本・アジア経済研究部門教授。
専門は、開発経済学、農業経済学。サブサハラ・アフリカを中心にアジア地域を含む発展途上国の農村地域で、農村開発と天然資源管理という観点から家計調査に基づく研究を行っている。ザンビア、ブルキナファソ、ガーナ、セネガル、ケニア、ラオス、中国雲南省など豊富なフィールド調査経験をもとに多数の著作を発表。

16:45 ディスカッション

17:00 クロージング

閉会后、情報交換と
交流の場を30分程
設けております。
是非どうぞ。



THANK YOU!

第2回 アジア編
7月1日（金）14:00～15:30

14:00 オープニング

- ・若手研究者へのメッセージ
落合一泰理事・副学長（社会学研究科・教授）
- ・組織的な若手研究者等海外派遣プログラムについて

14:15 講演

- ・山内明美氏 海外研究滞在報告（韓国・5ヶ月間）

言語社会研究科博士課程在籍。
専門は歴史社会学・日本思想史。とくに近代日本におけるナショナリズムと民族文化の相関関係(稲作ナショナリズム)について、日本の東北地方をフィールドに研究をしてきた。当事業では、韓国ソウル大学校に5ヶ月間滞在。植民地期における稲作についての調査を行ってきた。

- ・佐藤裕先生 海外研究滞在談

キャリア支援室大学院部門特任講師。
専門は国際社会学、開発とジェンダー論。昨年度より「インドの都市再編と貧困女性の社会関係資本に関する実証的研究」(科研費補助金)の一環で、スラムに残存するカーストやエスニシティを軸とした複合的な権力関係が、貧困女性の生存戦略に与える影響について調査を行っている。

- ・黒崎卓先生 海外研究滞在談

経済研究所日本・アジア経済研究部門教授。
専門は、開発経済学、農業経済学、南アジア経済論。経済発展のなかでの発展途上国の貧困と貧困層の脆弱性について、ミクロ経済学の立場から理論的・実証的に研究を行なっている。パキスタン、インド、ミャンマーの都市・農村部でのフィールド調査の経験が豊富で、同領域での著作も多数。

- ・中野聡先生 海外研究滞在談

社会学研究科総合社会科学専攻教授。
専門は、アジア太平洋国際史。米国、フィリピン、日本の関係を中心に、政治・経済・軍事、移民、エスニシティ、他者表象などに注目しつつ研究している。現在は、マニラ戦(1945年)やアジア太平洋戦争における大規模暴力をめぐる記憶、東南アジア占領をめぐる日本人の歴史経験などと取り組んでいる。

15:15 ディスカッション

15:30 クロージング

閉会后、情報交換と交流の場を30分程設けております。是非どうぞ。



THANK YOU!

第3回 南北アメリカ・オセアニア編
7月4日（月）13:00～14:30

13:00 オープニング

- ・若手研究者へのメッセージ
大芝亮理事・副学長（法学研究科・教授）
- ・組織的な若手研究者等海外派遣プログラムについて

13:15 講演

- ・黒岩裕市氏 海外研究滞在報告（カナダ・2ヶ月間）

一橋大学ほか非常勤講師。2008年博士号取得（学術博士）。
専門は日本文学、比較文学、セクシュアリティ研究、クィア・スタディーズ。
当事業では、2010年7月～9月にブリティッシュ・コロンビア大学アジア研究所にて滞在研究員として在籍し、「北米における日本研究とクィア・スタディーズ」の動向と展望を探るべく、研究を行なった。

- ・上村淳志氏 海外研究滞在報告（メキシコ・3ヶ月間）

社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程在籍（大杉高司ゼミ）。
専門は文化人類学、性的マイノリティー研究、メキシコ地域研究。当事業
では、2010年6月～9月にメキシコ大学院大学社会学研究センターにて滞
在研究員として在籍し、「メキシコの性愛倫理をめぐる交渉——メトロポリ
タン・コミュニティ・チャーチの総会の分析から——」というテーマで研究およ
び民族誌調査を行った。

- ・青野利彦先生 海外研究滞在談

法学研究科、国際・公共政策研究部講師。
専門は、アメリカ政治外交史、国際関係史、冷戦史。博士課程では、米国
にて、歴史研究を学び、2007年、カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校に
てPh.D.（歴史学）を取得。現在は、1960年代のヨーロッパ冷戦について研
究を進めている。

- ・伊豫谷登士翁先生 海外研究滞在談

名誉教授。社会学研究科地球社会研究専攻特任教授。
専門は、世界経済論、グローバリゼーション研究、移民研究。人の移動と
いう観点から、近現代資本主義世界の形成と展開、国民国家を基盤として
きた近代世界システムの揺らぎを理論的に解明する。オーストラリア・日本
を含めたアジア太平洋地域におけるグローバリゼーションとナショナリズム
の相克についても幅広い関心を持っている。

14:15 ディスカッション

14:30 クロージング

閉会后、情報交換と
交流の場を30分程
設けております。
是非どうぞ。



THANK YOU!